

平成 23 年度小野市当初予算
安全・安心、子育て、教育、
そして市民力による地域の活性化に重点
～3年連続の「積極型予算」5.0%の増～

【主な事業】

- ① 北播磨総合医療センター建設の推進
- ② 福祉総合支援センターの整備（福祉組織の再編）
- ③ 高齢者等地域活動拠点づくりモデル事業
- ④ 安全安心パトロールの推進
- ⑤ 中学3年生までの医療費の完全無料化
- ⑥ 小児細菌性髄膜炎・子宮頸がん等予防接種への助成
- ⑦ 小野中学校運動場等の整備
- ⑧ ICT教育の推進
- ⑨ 下東条地区まちづくりの推進
- ⑩ 浄谷地域交流施設の整備
- ⑪ 道路舗装整備5ヶ年計画の実施（5年間で約10億円の整備）
- ⑫ 新都市中央線の整備（新病院建設関連）
- ⑬ 図書館北公園の整備

【コメント】

市税収入は、法人市民税等若干の回復傾向が見られるものの、約67億円（対前年度比3.0%の増）と依然厳しい行財政環境にある。その中で、安全・安心、子育て支援や教育、そして市民力による地域の活性化等に重点を置き、3年連続増となる193億2千万円（対前年度比5.0%増）の積極型予算を編成。予算規模はここ10年間で2番目の規模となる。北播磨総合医療センターの建設、福祉総合支援センターや小野中学校の整備など、20年30年後を見据えた大型事業を進めるとともに、高齢者等地域活動拠点づくりモデル事業、浄谷地域交流施設の整備、下東条地区まちづくりの推進など市民力による更なる地域の活性化を目指す。

一方で、基金残高は、横ばいの78億円（決算見込）を維持。地方債残高は、臨時財政対策債約9億円、新病院建設にかかる出資債約5億円等を発行し、対前年比6%増の148億円と見込む。

平成23年度 当初予算の概要について

1 予算額

◆一般会計は、9億円、5.0%の増

(億円)

	H23年度予算額	H22年度予算額	比較	増減率 (%)	備考
一般会計	193.2	184.0	9.2	5.0	
特別会計	90.8	86.8	4.0	4.6	
企業会計	101	94.9	6.1	6.4	
総計	385.0	365.7	19.3	5.3	

2 市税収入額

◆市税は、1.9億円、3.0%の増 (法人市民税は68.9%の増、個人市民税は0.4%の減)

(億円)

	当初予算額	決算見込額
H23年度	67.2	67.2
H22年度	65.3	67.6
増減率	3.0%	-0.7%

3 基金の残高見込

◆預金にあたる基金残高は、5億円減の72億円(予算ベース)、決見は78億円

(億円)

H23年度末	72.3	予算ベース(決見78.1億円)
H22年度末	77.7	決算見込み
H21年度末	74.2	
H10年度末	52.4	

内、財政調整基金の残高見込

(億円)

H23年度末	27.2	予算ベース(決見33.0億円)
H22年度末	31.5	決算見込み
H21年度末	30.0	
H10年度末	19.6	

H23年度当初予算額(取崩額) 5.8 億円
 H22年度当初予算額(取崩額) 11.0
 H21年度当初予算額(取崩額) 12.0

4 地方債の残高見込

◆借金にあたる地方債残高は、9億円増の148億円

(億円)

H23年度末	148.1
H22年度末	139.3
H21年度末	139.7
H10年度末	168.6

5 財政健全化指標の見込

◆実質公債費比率は更に減少し、将来負担比率は10%以内を維持

	実質公債費比率	将来負担比率	連結実質赤字比率	備考
H23年度	12.7%	7.4%	赤字なし	決算見込
H22年度	13.1%	1.9%	赤字なし	決算見込
H21年度	13.7%	1.4%	赤字なし	